

































































「指定文化財」 記念物（史跡）

アマミチューの墓

宇比島の東方海岸にアマンジと呼ばれる岩屋の
小島があり、そこに洞穴を掘り込んだ墓がある。
地元では琉球舞びやく伝説で有名なアマミチュー、
シルミチューの男女二神及び他の神が祀られてい
ると伝えられている。毎年、年頭祈みには宇比島
のノロ（祝女）が中心となって島の人々多数が参
加して、豊穡・無病息災・子孫繁昌を祈願している。
また、古くから各地からの参拝者が絶えない、
信仰圏の広い貴重な霊場である。

文化財保護条例により、勝連町文化財に指定します。

平成7年2月20日 勝連町教育委員会



























勝連町指定文化財6号

民族資料（無形民俗文化財）

シルミチュー

宇比嘉の南々東端の森の中に大きな洞穴がある。地元では琉球開びやく祖神、アマミチュー、シルミチューの居住したところと伝えられている。

毎年、年頭拝みには比嘉のノロ（祝女）が中心となって、海浜から小石一個を拾って来て、洞穴内に安置された壺に入れて拜んでいる。また洞穴内には鍾乳石の陰石があり、子宝の授かる靈石として崇拝され、信仰圏の広い貴重な霊場である。

文化財保護条例により、勝連町文化財に指定します。

平成7年2月20日 勝連町教育委員会

平成7年2月建立

















